

科目名	高齢者理学療法学	担当教員	世古俊明 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	1単位	講義

科目概要	急激な高齢化に伴い、今後も高齢者数の増加が見込まれる。高齢者の多くは老化や合併症、認知症・鬱など多くの問題が併存している。そのため、多発する症候や疾患を含め高齢者のライフスタイルを包括的に捉え理解することが求められる。急速に変化する社会的ニーズの要請に対応するべく、高齢者に対する理学療法をどのように進めていくのかを学習する。
学習目標	1) 本邦における高齢化の実態と社会問題について説明できる。 2) 老年症候群の概念について説明できる。 3) 講義した疾患に対する高齢者理学療法評価とアプローチのポイントを説明できる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	高齢者の理解	本邦の社会調査について、老年症候群について。	高齢化に伴う社会問題について理解する。老年症候群の概念を理解する。	
2	高齢者の評価	老年症候群の評価方法と評価意義について。	高齢者の評価方法と評価意義について理解する。	
3	老年症候群に対するリハビリテーション	老年症候群に対するリハビリテーション及び栄養リハについて。	老年症候群に対するリハビリテーションの実際を知る。	
4	疾患における高齢者理学療法 1	運動器疾患に対する理学療法について。	評価のポイントや理学療法アプローチのポイントを理解する。	
5	疾患における高齢者理学療法 2	脳血管疾患に対する理学療法について。	評価のポイントや理学療法アプローチのポイントを理解する。	
6	疾患における高齢者理学療法 3	メタボリックシンドローム及び内部疾患に対する理学療法について	評価のポイントや理学療法アプローチのポイントを理解する。	
7	高齢者理学療法の臨床応用	高齢者の状態に応じた支援や目標設定について。	高齢者の状態に応じた理学療法の視点を養う。	
8	高齢者理学療法の今後	高齢者理学療法における今後の課題や展望について。	高齢者理学療法の課題や可能性について理解する。	
評価方法		筆記試験(100%)		
教科図書		配布資料		
参考図書		島田裕之 総編集：高齢者理学療法学，医歯薬出版。 荒井秀典 編集主幹：フレイル診療ガイド2018年版，ライフサイエンス。 ガイドライン作成委員会 編集：サルコペニア診療ガイドライン 2017年版，ライフサイエンス。		
学習の準備		老年学や健康増進障害予防概論・演習の復習をしておくとう理解しやすい。		
オフィスアワー		在室時は可能		
担当教員欄に※印を付した教員の実務経験				